

既存の QVF ファイルをデータソースにする

(2021/4 現在)

2021 年 4 月の SaaS アップデートで、異なるスペース間でバイナリロードが可能になりました。個人スペースや共有スペースのアプリをバイナリロードのデータソースとして使用することができます。

<バイナリロードとは>

Binary ステートメントを使用することで、QVF にデータをロードする際に、別の QVF にあるデータを参照(元データとする)し、ロードすること。

シート、ストーリー、ビジュアライゼーション、マスター アイテム、変数といった、アプリのその他の要素は含まれません。

1 つのアプリ内に複数の Binary ステートメントは使用できません。

➤ 前提

個人用スペースに新規でアプリを作ります。

データソースにしたいアプリを共有スペースに用意します。

<個人スペース>



<共有スペース>



1. データソース元となるアプリの ID をコピーします。

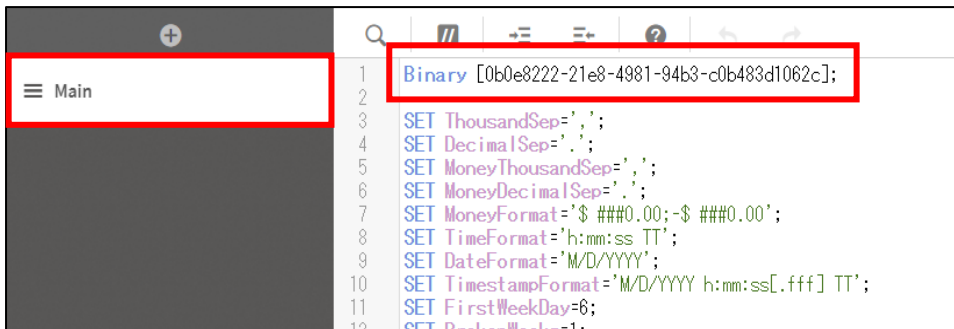
例) <https://xxx.ap.qlikcloud.com/sense/app/アプリID/overview/hubUrl/スペース名>

2. 個人スペースで作成したアプリのデータロードエディタを開き、[Main]タブを開きます。

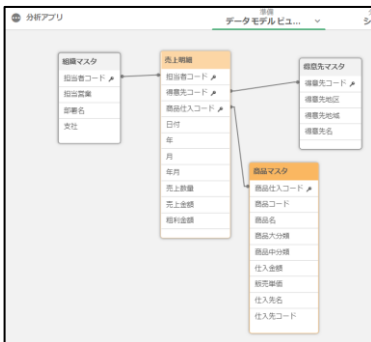
3. [SET ...]は消さずに残したまま、[SET ...]より上部に以下のように記載します。

<構文>

Binary [アプリの ID];



4. データをロードすると、個人用スペースに格納されていたアプリのデータが共有スペースのアプリにデータモデルと共に、格納されます。



テーブルをファイル出力する場合は以下のように記載すると、出力可能です。
QVD ファイルへの出力を例とします。

```
Store 商品マスタ into [lib://DataFiles/商品 Master.qvd](qvd);
```

以上